

この日までに、ユニセフはインドネシアだけでも **5月26日** 50万人の子どもたちに、文房具や教科書、レクリエーション・キットの配給を行いました。また、200箇所では仮設の小学校校舎の建設が始まりました。



**7月18日** インドネシアのアチェとニアス島にある21の子どもセンターで、1万7,000人の子どもたちがレクリエーション活動に参加しました。

**8月30日** インドネシア全土でポリオが流行していることを受けて、ユニセフは第一回目の全国ポリオ予防接種を行いました。約2万5,000人のスタッフによって、48万3,000人の5歳未満児が予防接種を受けました。指導員は、予防接種によって子どもが病気がかかってしまうという誤解の根絶につとめました。

**10月** インドネシアのアチェでは、ユニセフは、教師を対象にして、地震が発生した際の避難訓練の実施方法についての研修を行いました。



**12月26日** ユニセフは「津波発生前よりも良い社会サービスを提供する」という方針の重要性をうたえ、津波によって破壊されたコミュニティの再生のために必要なものを人々が手に入れられるように努めました。

**4月** インドネシア政府、国連、NGOの協力のもと、バンドアチェに住む生後6ヶ月から15歳の子どもたち111万3,494人がユニセフの支援するはしかの予防接種を受けました。



**6月26日** スリランカでは、ユニセフが給水タンクや給水車を提供したことで、10万人の避難民が、一人1日当たり15リットル以上の水を利用できるようになりました。



**9月15日** ユニセフは、津波の被害を受けたタイの6州で約1万人の子ども達を対象に、子どもたちの現状についての包括的調査を実施しました。



**11月** ユニセフは、タイの学校の水と衛生状態の改善のために2年間にわたる水と公衆衛生プログラムを開始しました。